



つどえ連盟発祥の地ぐんまに！ 誓い合おう 更なる飛翔を！

第63回全国ろうあ者大会 in ぐんま

平成27年6月10日(水)～14日(日) 群馬県前橋市 ヤマダグリーン・ドーム前橋・群馬会館・群馬県庁 他

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟

主管：一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟

第63回全国ろうあ者大会実行委員会

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町 13-12 群馬県社会福祉総合センター内

(一社) 群馬県聴覚障害者連盟気付

FAX 027-255-6870 TEL 027-255-6404 E-mail th63zenkoku-jimu@deaf-gunma.com



No.3
2014年11月



メイン大会会場変更！！

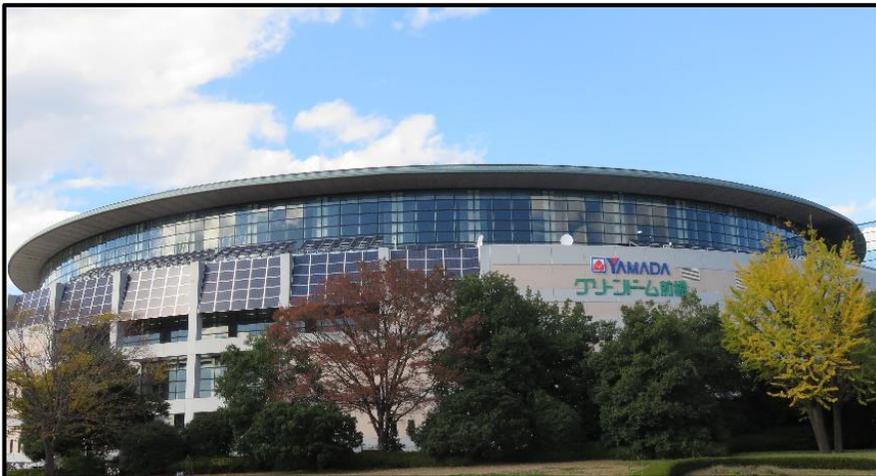
当初 予定していたベシシア文化ホールから
より広く ゆったりしたヤマダグリーン・ドーム
前橋に変更となりました。

会場で皆様におくつろぎいただけるよう

群馬のお・も・て・な・し

いろいろ計画中です。

お楽しみに！



群馬県はどんなところ?? ～ その2 ～



「七五三祝い 発祥の地」

“七五三”のお祝いを 初めて行ったのは、
群馬県 館林市です。

天和元年(1681年12月24日)に

館林城主の徳川徳松(第5代将軍 綱吉の長男)の健康を
祈って始まったといわれています。



「徳川家のルーツは 太田市！」

平安時代「後三年の役」をしずめた八幡太郎義家の孫、義重は、
この地で新田氏を興しました。その子、義季は、尾島町の徳川の地
をもらい、徳川義季と名のり、徳川家が誕生した。

後の家康が、松平姓から徳川姓にもどしたことから世良田・徳川
の地は、「徳川氏」発祥の地として、江戸幕府の庇護を受けた。

群馬県はどんなところ?? ~ その3 ~



~ 桐生うどん ~

もとは郷土料理の「おっきりこみ」。うどんの幅は、店により1.5センチから10センチ以上のものまであります。厚さは1ミリくらい、つるんとしたのと越しも特徴のひとつ。元々は冬に食べられていましたが、今では暑い時期によく食べられています。



~ 館林うどん ~

昔から良質な小麦と、名峰赤城山の伏流水に恵まれ、うどん文化が発達。将軍家に献上されてきました。つややか、なめらか、もちもちとした味わい、おいしいですよ。館林はカップヌードルの日清製粉の創業地です。



じょうもう
“上毛かるた”コーナー
~ その2 ~
許諾第 26-01040 号

~ 水沢うどん ~

コシと弾力があり、透き通って、つるつるしたうどんです。ざるうどんを食べます。つけ汁は、しょうゆだれやゴマだれ。400年以上の歴史があり、日本三大うどんの一つ。



「分福茶釜の茂林寺」
館林市の茂林寺。茶釜に化けていたたぬきが、綱渡り芸で恩返しをする童話『分福茶釜』で有名なお寺。